



オクスラド通信

第2号
2016.3

学校法人 プール学院 法人本部 オクスラド基金 募金室

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-19-31 TEL (06) 6741-7005 FAX (06) 6731-2431
E-MAIL: bokin@poole.ed.jp

オクスラド通信 第2号をお届けします。

皆様の温かいお祈りとともに、オクスラド基金へのご協力をいただきありがとうございます。昨年夏に発刊をいたしましたオクスラド通信ですが、今回の第2号は、お支えの中実施をいたしました活動報告につきまして、生徒・学生さんの声を中心に掲載をさせていただきました。ぜひお読みいただき感想とご意見をいただければ幸いです。



- **委員長**
坂本 スミ子 (石井寿美子) 64回生
- **副委員長**
杉山 修一 (学校法人プール学院理事長)
鈴木 光子 (一般社団法人 POOLE 理事長<プール学院同窓会>)
益岡 淳一 (プール学院大学・短期大学部後援会長)
奥井 浩子 (プール学院中学校・高等学校後援会長)
山下 なほみ (プール学院中学校・高等学校 PTA 会長)
蔵田 實 (プール学院大学・短期大学部学長)
内海 伸晃 (プール学院中学校・高等学校長)
増成 恒哉 (学校法人プール学院法人事務局長)
竹内 信義 (プール学院大学・短期大学部チャプレン)

- **実行委員**
古川 和子 (一般社団法人 POOLE <プール学院同窓会>)
大塚 陽子 (一般社団法人 POOLE <プール学院同窓会>)
竹原 夕子 (一般社団法人 POOLE <プール学院同窓会>)
上原 ゆり (プール学院大学・短期大学部後援会)
宮澤 喜代美 (プール学院中学校・高等学校後援会)
青木 多喜子 (プール学院中学校・高等学校 PTA)
五十嵐 よし子 (プール学院大学同窓会ミツバ会)
植野 雄司 (プール学院大学・短期大学部)
脇元 亜希子 (プール学院大学・短期大学部)
藤井 竜平 (プール学院中学校・高等学校)
加藤 明宏 (プール学院中学校・高等学校)
楠原 博次 (学校法人プール学院)

ご支援に感謝!!

中学校・高等学校の特別活動のご支援について、ご報告いたします。

《 活 動 の 一 覧 》

1. ニュージーランド3か月留学		◎約10万円をご支援いただきました。
日 程	2015年4月18日～7月4日	
訪 問 先	ニュージーランド・オークランド市 語学学校および現地高等学校5校 (公立・私立)	
2. タイ ボランティア・スタディツアー		◎約10万円をご支援いただきました。
日 程	2015年7月23日～7月29日	
訪 問 先	タイ東北部 (イサーン地方) スリン ムニティ (カトリック・プラチャーピパット財団) 奉仕活動 ジャルーク・クェ村学校 農村体験 ソー・ウォー・コー校 (国立スラウィタヤカーン高校) 交流プログラムおよび体験授業	
3. 東日本大震災被災地訪問		◎約15万円をご支援いただきました。
日 程	2015年8月13日～8月14日	
訪 問 先	宮城県石巻 (大川小学校跡、門脇地区) 福島県相馬郡新地町 (仮設住宅「がん小屋」) 福島県相馬市 (磯部中学、相馬市役所 ほか) 宮城県名取市閑上地区、仙台市荒浜地区	
目 的	文化祭高II飲食店企画「被災地の産物を食材として出店する」ための視察 「プール・相馬つながるプロジェクト」支援先である相馬市の復興状況の視察	

未来に向けて (タイ ボランティア・スタディツアー)

高校Ⅱ年B組 宮脇真緒

私はとても驚きました。私より小さい子がこんなところで生活しているということを、初めて身をもって知った瞬間でした。知識として知っていたものの、自分の目で見るのがどれほど大切なのかとてもよくわかりました。



現地の人たちとの交流はとても楽しく、精一杯のおもてなしをしてくださる姿を見て、とても感動しました。その中でも、やはり一番心に残るのは現地の小学生との交流です。冒頭でも述べたようにそこは驚きしかなく、私の人生の中でとても大切な一部となりました。

遊んでみると、かわいくて私まで小さな子供に戻ったような感じがして、とても楽しく日本のお祭りを紹介することが出来ました。しかし、小学生の子たちの目は純粋で輝いているのに、その中に何か憂いを秘めている感じがしました。その理由は家庭訪問で知ることが出来ました。野良犬ばかりの砂利の道、トタンや木で出来た今にもつぶれてしまいそうな家、少し触ったら崩れそうな壁。その子たちはこんな環境で暮らしていました。日本の中でも都会である大阪から来た私にとって、それはとても衝撃的と言葉を失いました。話を聞いていると家庭環境は複雑で、こんなこと聞いてしまってよかったのだろうかと思ひ、日本からのお土産、ボランティアとしてお菓子を渡しましたが、それも小学生にとってうれしいことだったのかと考えました。

このような形でタイの人々と交流しタイの方々の方々の温かみに触れた分、私たちが普段どれくらい恵まれた環境で暮らしているのか、そしてボランティアとは何なのか、支援することとは何なのかを考えさせられました。これらの問題について考えることはとても難しいです。それでも私はタイで感じたこの思いをこれからの人生に取り入れ、まず、自分の恵まれた環境に感謝し、そして戦後70年を迎え発展し平和になった今の日本に感謝し、これからの日本、そして世界の平等さや平和について考えていかなければならないなと思いました。残された時間の中で、私たちにできることは何でしょうか？

それも私の今後の課題として、考えていくべきことだと思いました。

留学して得られた経験

高校Ⅱ年A組 水田陽菜

私は留学を通して色々な人と良い関係が築けました。一番大きいのはホストファミリーです。今回の留学では、2家族のお家にお世話になりました。同じニュージーランドの人でもやはり生活の環境は全然違いました。ニュージーランドは、外国の人がたくさん住んでいるので、色々な国の友達が出来ました。また外国に対する差別などもなくとても良い国でした。私の1つ目のホストファミリーは、ニュージーランドの人だったんですが、2つ目の家族はフィリピンの人だったので、他の人より生活環境の違いを感じさせられたと思います。私は2家族共すごい優しい人で学校生活も楽しめました。皆がみな留学生に対して優しい訳ではないけど、それは自分の行動次第で色々な方向に繋がると今回の留学を通して学びました。どんな状況でも自分から話しかけると良いと思いました。留学生なので、それだけで興味を持ってくれたり優しくしてくれる人が多いので、私は1人で帰ってくる時に色々な人に道を聞いたりして友達を作ったりしました。語学学校でできた友達は皆、ニュージーランドに来て悩み事とかあったりして互いに励まし合ったり休みの日は、色々な国の人と遊んだりしました。毎日が本当に濃くてとても刺激的で楽しいこともたくさんあって楽しかったです。



ニュージーランドに行って学んだこと

高校Ⅱ年A組 沢田香月

私たち12人は4月19日から7月4日の3ヶ月間ニュージーランド語学留学へ参加しました。最初の7週間はオークランドにあるブロンズ・ベイというすごく景色の良い町の語学学校で英語を学びました。中国やタイ、タヒチの子などいろいろな国の子たちがいました。すごくみんなフレンドリーですぐ仲良くなれました。授業内容はすべて英語で行うものであり身に付きました。その他には、ボールを使ったり、砂浜を使って伝言ゲームをしたりよりいっそう仲も深まりました。ホームステイ先ではとても気さくな人で子どもたちとも仲良くなりました。語学学校が終わり、現地の高校で学びました。私が行ったのは女子校の Baradene College というすごくきれいな学校でした。日本と違うのは毎回授業ごとに移動だったことや廊下で昼ご飯を食べたりと、日本との違いを感じました。



私は日本でいう文化祭というものにも参加しました。全校生徒はチャペルに集まり、ニュージーランドの民族踊り「ハカ」というダンスを踊っていました。それが終わり、クラスごとに店を出してカップケーキやフィッシュアンドチップスなどを売っていました。私はすごく楽しい現地学校の生活が送れました。ホームステイの方もすごく親切で楽しく家族でした。またニュージーランドに行った時に絶対再会したいと思っています。この人生の中ですごく良い経験をして本当に感謝したいと思っています。英語が大好きになり、自信がついたので私はもっと頑張ろうと思っています。ありがとうございました。

ニュージーランド留学を通して

高校Ⅱ年A組 小谷晴菜

「様々な国の友達を作り、国際的な考え方を理解する」これが私の留学前の目標でした。

最初の一週間はすべての事が初体験で毎日が新鮮でした。初めての海外、初めての外国人の友達、初めてのニュージーランドの食べ物……なにもかもが貴重な体験でした。そして、そのような生活の中で私は英語で人と話すことの大切さと楽しさを学びました。私は英語学校に通っている時に一人の大切な友人が出来ました。その子は、私と同じ年齢のタイ人の女の子です。その子とは同じクラスになったことで知り合い、休みの日にも一緒に遊ぶようになりました。私は留学当初、英語がすごく嫌いでした。けどその子と会話をするうちに英語で話すことが好きになり、自分からすすんで英語を勉強するようになりました。すると、英語のレベルもどんどん上がり、最終的にはその時のクラスから2クラスも上のクラスにあがれるようになりました。そして、最後に留学中にできなかった範囲の勉強は、分からない所があれば先生に聞き、なるべく普段の授業で習っていない事をふくめて理解しようと思っています。「受験サプリ」は一年間使えるのでそれもたくさん使おうと思っています。



ご支援に感謝!!

大学・短期大学の特別活動のご支援について、ご報告いたします。

東日本大震災ボランティア活動報告

報告者 チャプレン 竹内 信義

8月の末、私たちは大学として、4泊5日の第5次東日本大震災ボランティア活動を行うことができました。岩手県まで途中の休憩を挟んでの14時間、12名の学生に教会関係の参加者を加えて総勢19名がマイクロバスをチャーターし片道約1,000kmを走破し、訪問先は8箇所に及びました。いずこも、復興は未だ遠い先のこと、10数万人以上が故郷を追われ、戻ることはもう無いと思われるくらいです。来ているボランティアは激減していました。

決算約90万円の内、自分たちの参加費に学内教職員・学生たちからの募金などを加え約40万円、外部よりの支援金に大学の予算を加えて14万円、そして不足分の約36万円がオクスラド基金に支えられて実現しました。ご支援いただき心より感謝いたします。

下記は、参加した学生によるコメントです。



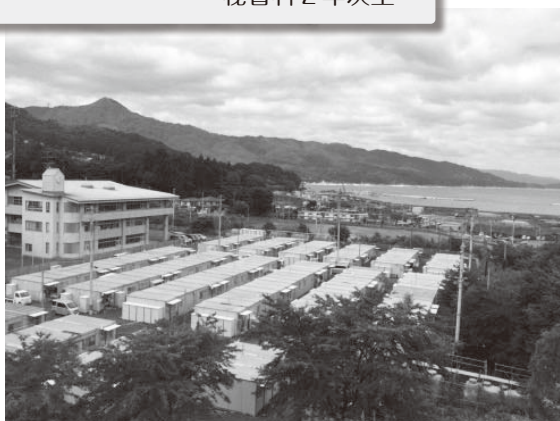
堤乳児園での交歓風景

テレビで報道がほとんど見られなくなりましたが、現地では4年も経っているのに何も変わっていません。そんな中、子どもたちの輝く笑顔を見ると心が和みます。しかし同時に、辛い気持ちにもなりました。
秘書科2年次生

東北では保育園や幼稚園を訪れてレクリエーションをしました。また、仮設を訪問し、4年前の3月11日に原因を知らされないまま避難し、一度も家に戻っていない方のお話しは心が痛みました。
教育学科1年次生

メディアで得る情報よりも実際に目で見ることでしか伝えることのできない悲しさ、被災者にしか分からない心の痛みを痛感しました。
秘書科2年次生

私は、昨年と今年の二年に亘りボランティア活動に参加しました。まだまだ仮設住宅に住んでいる方がたくさんいらっしゃることや、震災の爪痕が町の至る所に残っていることなどから、本当の復興にはあと数十年はかかると感じました。
秘書科2年次生



岩手県大槌町 左の建物の屋根まで津波が来た。手前は仮設住宅



山からの土を運ぶベルトコンベアが続く

4年経った今でも川に車や木々が流れついているのを見た時、衝撃でした。私たちにできることは少ないですが、今回その数少ないボランティアに携わることができ、良い経験でした。
教育学科1年次生

オクスラド基金のご報告

ご確認のお願いを申し上げます

ご寄付の状況のご報告にあたり、ご確認とともに以下をご留意くださいますようお願い申し上げます。

* 下記「オクスラド基金受入状況報告」は、発足から本年1月15日までにご寄付（ご入金）をいただいた件数・金額を掲載させていただいております。

* ご芳名につきましては、前回（昨年夏）・前々回（一昨年夏）と同様の分類（申込書に記載）に基づき、夏に発行予定のオクスラド通信第3号にて、ご掲載をさせていただく予定をしております。

* ご掲載方法の変更（辞退・掲載希望等）につきましては、お手数でございますが、5月末までにご連絡をお願い申し上げます。

オクスラド基金受入状況報告

2016. 1. 15. 現在（単位：件、円）

期 間	2014年3月31日までの受入		2014年度受入		2015年4月1日～ 2016年1月15日までの受入		合 計		参考（申込予約）	
	入金件数	金額	入金件数	金額	入金件数	金額	入金件数	金額	未入金件数	金額
1. 保 護 者	45	2,218,000	53	2,272,520	26	1,661,390	124	6,151,910	1	20,000
中学・高校保護者	38	2,154,000	48	2,209,520	25	1,651,390	111	6,014,910	0	0
大学・短大保護者	7	64,000	5	63,000	1	10,000	13	137,000	1	20,000
2. 教 職 員	55	3,388,000	82	6,532,202	40	2,758,100	177	12,678,302	3	870,000
教職員（現職）	27	2,037,000	46	947,232	20	1,415,100	93	4,399,332	2	720,000
教職員（旧職）	28	1,351,000	36	5,584,970	20	1,343,000	84	8,278,970	1	150,000
3. 同 窓 会	113	4,041,739	108	3,288,610	53	3,133,655	274	10,464,004	1	2,400,000
本部同窓会	88	3,293,539	88	2,823,810	37	2,709,655	213	8,827,004	0	0
ミヅパ会	23	688,200	19	454,800	15	394,000	57	1,537,000	1	2,400,000
支部など	2	60,000	1	10,000	1	30,000	4	100,000	0	0
4. 後援会（中学・高校）	2	20,000	21	1,248,866	7	130,000	30	1,398,866	0	0
5. 教会関係	2	600,000	2	60,000	0	0	4	660,000	0	0
6. 役員・評議員	9	1,620,000	9	770,000	2	40,000	20	2,430,000	0	0
役員・評議員（現職）	6	610,000	7	730,000	2	40,000	15	1,380,000	0	0
役員・評議員（旧職）	3	1,010,000	2	40,000	0	0	5	1,050,000	0	0
7. 企 業	2	102,000	3	320,000	5	590,000	10	1,012,000	0	0
8. そ の 他	8	121,974	7	190,156	8	110,803	23	422,933	0	0
合 計	236	12,111,713	285	14,682,354	141	8,423,948	662	35,218,015	5	3,290,000

お願いを申し上げます。

今年の夏には、オクスラド通信第3号をお届けさせていただく予定でございます。
つきましては、内容につきましてのご意見ご感想等をお願い申し上げます。